

平成31年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会
兼第16回 JA全農杯チビリンピック小学生 8人制サッカー大会北海道予選

開 催 要 項

- 1 主旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
- 2 名称 平成31年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会
兼第16回 JA全農杯チビリンピック小学生 8人制サッカー大会北海道予選
- 3 主催 (公財)北海道サッカー協会、日刊スポーツ新聞社
- 4 主管 室蘭地区サッカー協会
- 5 後援 (公財)日本サッカー協会、伊達市、伊達市教育委員会
- 6 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
- 7 協賛 ホクレン農業協同組合連合会
- 8 期日 平成31年4月13日(土) 9:00～ 監督会議
9:30～ 開会式
10:15～ 1回戦・2回戦
14日(日) 9:00～ 準決勝・決勝
12:00 閉会式
- 9 会場 伊達市まなびの里サッカー場
- 10 参加資格 (1) 参加チームは2019年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。ただし、2018年度(H30年)に実施した本大会の地区予選をU-11選手で勝ち抜き、別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
(2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
(3) 第4種年代の女子選手については、「クラブ申請」を承認された同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
(4) 「参加チーム」は各地区の代表となったチームとする。
(5) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内2名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
(6) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
(7) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- 11 参加チーム数 各地区協会より参加できるチーム数は次の通りとする。計16チーム。
札幌2 函館1 旭川1 釧路1 根室1 小樽1 空知1 北空知1 十勝1
千歳1 網走1 室蘭1 苫小牧1 (道北/宗谷)1 ※道北と宗谷でプレーオフ
開催地1(今年度は室蘭地区)
- 12 競技規則 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 13 大会形式 16チームによるトーナメント戦とする。
- 14 競技方法 (1) プレーの時間:36分(12分-12分-5分-12分 3ピリオド)
(2) インターバル(ピリオド間): 第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみのとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、5分とする。
(3) エンドの決定:
第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
(4) 試合の勝者を決定する方法
規定の時間内に勝敗が決しない場合は、3人ずつのPK方式で勝者となるチームを決定する。試合終了時に出場している選手で行う。準決勝と決勝では6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合は試合終了時に出場している3選手によるPK方式で勝者を決定する。延長戦に入る前のインターバル:5分 PK方式に入る前のインターバル:1分

(5) 選手の交代

- ・競技者の数は、常に 8 人(うち 1 人は GK)とする。
- ・原則、選手全員が 1 ピリオドを通じて出場する。
- ・第 1 ピリオド出場予定の 8 人、第 2 ピリオド出場予定の 8 人と、その他交代要員を予め明確にする。
- ・交代要員含め同一選手の出場は最大で 2 ピリオドまでとし、3 ピリオド全てに出場することはできない。事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が 11 人以下になったときに限り、1 試合で 3 つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない)

① 第 1 ピリオド

- ・予め決められた、第 1 ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。交代要員: 提出したメンバー表出場印がついていない選手
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第 2 ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は、再び出場できない。(=自由な交代ではない)

② 第 2 ピリオド

- ・予め決められた、第 2 ピリオド出場予定選手が出場する。
- ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。第 1 ピリオドで交代して出場していても出場はできる。
- ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第 1 ピリオド出場予定の選手が出場できる。
- ・交代して退いた選手は、再び出場できない。(=自由な交代ではない)

③ 第 3 ピリオド

- ・第 1・第 2 の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

④ 延長戦

- ・交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

(6) 交代の手続

- ・交代して退く選手は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。
- ・交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
- ・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。ただし、交代で退く選手が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- ・交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
- ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

(7) テクニカルエリア: 設置しない。

(8) ベンチに入ることができる人数: 最大選手 12 名・指導者 4 名
2 名以上の指導者がベンチに入ることを義務付ける。

(9) 審判員: 1 人の主審と補助審判が指名される。

(10) アディショナルタイムの表示: 実施しない。

(11) ファウルと不正行為

- ・警告・退場: 通常の競技規則に準ずる。
- ・退場: 当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に 8 人でプレーする。
- ・退席処分: ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
- ・大会期間中、警告を 2 回受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。
- ・本大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。

(12) 飲水タイム: 採用しない。

(13) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数: 2 名以内

(14) 登録選手証: 本大会出場する選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧証を印刷したものを示す。ただしスマートフォンや PC 等の場面に表示したものは、本大会では不可とする。

(15) 競技場: 人工芝のグラウンドを使用する。

(16) ピッチサイズ: 縦 68m × 横 50m の大きさを使用する。

ペナルティエリア: ゴールライン上、ゴールポスト外側に 12m、その地点からゴールラインに直角 12m

ゴールエリア: ゴールライン上、ゴールポスト外側に 4m、その地点からゴールラインに直角 4m

センターサークル: 半径 7m ペナルティマーク: 8m

ペナルティアーチ: 半径 7m の半円弧 フリーキック時の壁との距離: 7m

(17) ゴール: ゴールの内の縦 2.15m、横 5m

(18) ボール: 4号球

(19) コーナーキック: ボールがインプレーになるまで相手競技者は、コーナーアーチから 7m 以上離れる。

(20) グリーンカードの導入

15 ユニフォーム (1) 試合に際しては、大会参加申込の際に登録している正・副2色のユニフォームを用意すること。

(2) (公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

16 懲罰

(1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。

(2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

(3) 本大会の規律委員会委員長は(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

(4) 本大会期間中において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。

(5) ・本大会において退場を命じられた競技者は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については規律委員会において決定する。

・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

(6) 本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

17 参加料

大会参加料21,600円

18 参加申込

(1) 参加チームは所定の用紙をEメールで所属地区協会事務局まで送付すること。

(地区サッカー協会経由で(公財)北海道サッカー協会に送付)

・参加申込書

※参加申込書には選手16名以上20名まで、指導者4名までの氏名を記入すること。

・プライバシーポリシー同意書

(2) 親権者同意書は捺印の上、(公財)北海道サッカー協会宛に郵送すること。

※提出期限はすべて3月20日(水)17時必着とする

【申込先A】 (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

【申込先B】 室蘭地区サッカー協会

〒050-0061 室蘭市八丁平5-45-9

室蘭地区サッカー協会 事務局 佐藤 昌也 気付

TEL 090-8427-0901 FAX 0143-47-8315

E-mail: mt.satoum@mail.iburi.ed.jp

【参加料納入口座】 銀行名 北洋銀行 中島町支店

口座名 室蘭地区サッカー協会

口座番号 (普) 3131206

- 19 組合せ 平成31年3月25日(月) (公財)北海道サッカー協会において行う。
※組合せは(公財)北海道サッカー協会HPの「大会情報・4種」で確認すること
- 20 帯同審判 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会公認審判員(3級以上)を必ず帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。また、監督は帯同審判を兼ねることはできない。
- 21 選手変更 選手変更・追加登録は、所属の地区を通じEメールにて(公財)北海道サッカー協会および主管協会に届出のこと。提出期限はすべて平成31年3月22日(金)17時必着とする。
- 22 監督会議 平成31年4月13日(土) 9時00分より 伊達市まなびの里サッカー場管理棟において行う。監督は必ず出席のこと。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
- 23 開会式 平成31年4月13日(土) 9時30分より 伊達市まなびの里サッカー場において行う。選手・監督は全員参加すること。参加しない選手は大会への参加を停止することもある。
- 24 閉会式 平成31年4月14日(日) 決勝戦終了後、伊達市まなびの里サッカー場において行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
- 25 その他 (1) 優勝 賞状・メダル・副賞 準優勝 賞状・メダル 3位 賞状・メダル
(2) 選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
(3) 宿泊等の斡旋は特に行わない。
(4) 優勝チームは平成31年5月に横浜で開催される全国決勝大会(JA全農チビリンピック2019)への参加を義務付ける。(参加費用については主催者が負担する)
(5) 優勝チームは道協会ホームページで写真入で紹介する。
(6) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には本大会実施委員会(主管地区理事長、競技委員長、審判委員長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

以 上